

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【公表番号】特表 2017-503459 (P2017-503459A)

【公表日】平成 29 年 1 月 26 日 (2017.1.26)

【年通号数】公開・登録公報 2017-004

【出願番号】特願 2016-534718 (P2016-534718)

【国際特許分類】

H 0 2 M 7/48 (2007.01)

H 0 2 M 7/538 (2007.01)

H 0 2 J 50/12 (2016.01)

【F I】

H 0 2 M 7/48 P

H 0 2 M 7/538

H 0 2 J 50/12

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 11 月 7 日 (2017.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

誘導型電力送信機のためのプッシュプルインバータであって、

a. 第 1 ブランチ及び第 2 ブランチに電力を供給する DC 電源と、

b. 前記第 1 ブランチ上の第 1 ノードと前記第 2 ブランチ上の第 2 ノードとの間に接続された共振インダクタと、

c. 第 1 スイッチング信号によって切り替えられる、前記第 1 ノード及び共通のグラウンドの間に接続された第 1 スイッチと、

d. 第 2 スイッチング信号によって切り替えられる、前記第 2 ノード及び前記共通のグラウンドの間に接続された第 2 スイッチと、

を含み、

前記第 1 スイッチング信号は、前記第 2 ノードがローである時に前記第 2 ノードに基づくと共に、前記第 2 ノードがハイである時に DC ソースに基づき、前記第 2 スイッチング信号は、前記第 1 ノードがローである時に前記第 1 ノードに基づくと共に、前記第 1 ノードがハイである時に DC ソースに基づく、

ことを特徴とするプッシュプルインバータ。

【請求項 2】

前記 DC ソースは、前記 DC 電源である、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

【請求項 3】

前記第 1 ブランチ及び前記第 2 ブランチは、それぞれ、前記共振インダクタの一部ではない DC インダクタを含む、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

【請求項 4】

前記共振インダクタは共振キャパシタに並列に接続される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

**【請求項 5】**

前記共振インダクタは、前記第 1 スイッチ及び前記第 2 スイッチのキャパシタンスと共振する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

**【請求項 6】**

前記共振インダクタは、前記誘導型電力送信機の送電コイルを形成する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

**【請求項 7】**

動作周波数が約 1 k H z から約 1 0 0 M H z までである、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

**【請求項 8】**

前記動作周波数が約 1 0 M H z までである、

ことを特徴とする請求項 7 に記載のプッシュプルインバータ。

**【請求項 9】**

前記第 1 スイッチの第 1 ゲートが、第 1 ダイオードによって、前記第 1 ダイオードが順方向バイアスされるときに前記第 1 ゲートが前記第 2 ノードによって駆動されると共に前記第 1 ダイオードが逆方向バイアスされるときに前記第 1 ゲートが前記 D C ソースによって駆動されるように、前記第 2 ノードに接続され、

前記第 2 スイッチの第 2 ゲートが、第 2 ダイオードによって、前記第 2 ダイオードが順方向バイアスされるときに前記第 2 ゲートが前記第 1 ノードによって駆動されると共に前記第 2 ダイオードが逆方向バイアスされるときに前記第 2 ゲートが前記 D C ソースによって駆動されるように、前記第 1 ノードに接続される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のプッシュプルインバータ。

**【請求項 10】**

前記第 1 ダイオードは第 1 スピードアップキャパシタに並列で接続され、前記第 2 ダイオードは第 2 スピードアップキャパシタに並列で接続される、

ことを特徴とする請求項 9 に記載のプッシュプルインバータ。